

とちの実

第85号

編集・発行

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会

事務局

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6

とちぎ福祉プラザ2F

TEL: 028-624-3789

FAX: 028-624-8631

[Eメール] tochi-chiiku@ninus.ocn.ne.jp

[URL] https://www.tochiteiku.jp/



つながり、そして
継続していくこと

栃木県手をつなぐ育成会

会長 小島 幸子

いつも育成会活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

栃木県の育成会は、70年という長い期間、知的・発達障害の人とその家族に寄り添い、障害の程度にかかわらず、ライフステージに応じた適切な支援のもとで安心して暮らせることを願っており、共生社会の実現を求めています。

最近、長年活動していただいた会員が高齢となり、新しい人の入会も少なく、役員を受けてくれる人がいないなどの理由で運営が難しい市町も出てきました。

それに伴い、県育成会の会費収入や販売事業の減少があり、財政的にも大きな課題となっています。

しかし、知的・発達障害の人たちは何の困り感もなく地域で暮らしているのでしょうか？

その家族への支援は、充実しているのでしょうか？私のもとに寄せられる相談は、厳しく、そして切ない気持ちになる内容が多く、まだまだ

この活動を前へ、前へと進める必要があると感じています。

県育成会では、今年度から「今後のあり方検討会」を立ち上げて議論を深めています。

検討課題としては①育成会活動の存在意義の再確認②会員減少への対応策③安定した財政運営への対応策④定款変更に向けた検討。となっています。

結果については、また「とちの実」でご報告いたします。

そのような状況ではありますが、県の委託事業であるレクリエーション・社会生活トレーニング事業の各市町から提出された計画の内容を見ると宿泊も増えてきて、趣向を凝らした内容となっており、本人や家族の笑顔が目に見えます。

最後に、私たちはなんのために育成会活動をしているのでしょうか？

障害のある人の笑顔を見るためだと思うのです。厳しいことがたくさんありますが、つながり、心ひとつにして育成会が継続していくために汗をかいていきましょう。

皆さま、よろしく願いいたします。

目次

- P1 会長あいさつ 目次
- P2 総会報告 予算案 役員名簿
- P3 ぜんち共済 広告
- P4~P5 地区活動アラカルト
宇都宮市、矢板市、那珂川町、芳賀町
- P6 JIC生活サポート総合補償制度 広告

- P7 研修会報告
全体研修会、那須烏山市相談会・研修会、下野市相談会・研修会
育成会活動委員会報告
各地区構成団体代表者懇談会
- P8 本人部会活動報告、お知らせコーナー（賛助会員募集、共同募金の協力等）
編集後記

第13回会員総会報告

去る5月22日(木)第13回会員総会を開催しました。大変お忙しい中、県障害福祉課課長の小川元子様、県教育委員会特別支援教育課課長の玉田敦子様のご臨席をいただきました。冒頭、小島会長からは、県育成会が来年70周年を迎えることについて、次の世代へ引き継いでいく役割があることや会員減少など課題もあり、新しい形に変えていく必要があることなどの挨拶がありました。

ご来賓からは、共生社会の実現に向けての障害福祉施策に係る事業や特別支援教育の推進に向けての特別支援教育施策に係る事業について、今年度の取り組みなどのご挨拶をいただきました。

さて、総会には19地区構成団体の出席(委任状3)を得て、昨年度の事業及び決算・監査報告並びに今年度の事業計画・予算案、役員改選案を審議し、全議案が承認され決議しました。

その中から、今年度の育成会活動の重点について、一つは、県育成会の運営体制の見直し及び地区育成会の活性化に向けた活動支援の強化になります。今年度、県育成会の今後のあり方検討会を実施して課題に向けた解決方策に

ついて検討を進めていきます。

二つ目は、権利擁護と政策提言になります。災害時の支援体制について要望等を継続的に進めるとともに、警察や消防等の機関との連携を図っていきます。

今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

令和7年度一般会計(販売活動含む) 概要版

R7.4.1~R8.3.31

科目	R7年度予算	R6年度予算	R7-R6の差額	R6実績	備考(R7)
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入	11,042,200	12,017,600	▲ 975,400	10,855,856	科目①~⑥の合計
①基本財産運用収入	0	0	0	0	
②会費収入	1,812,500	2,055,000	▲ 242,500	1,870,100	
会費	1,500,000	1,925,000	▲ 425,000	1,797,500	21団体(2,500円×719名)
賛助会費	312,500	130,000	182,500	72,600	個人14人 団体5箇所
③事業収入	4,124,700	5,197,600	▲ 1,072,900	3,972,359	
	213,420	237,600	▲ 24,180	226,800	(1)会誌「手をつなぐ」地方活動助成金
	3,911,280	4,960,000	▲ 1,048,720	3,745,559	(2)製品斡旋による売上代
④補助金収入	1,246,000	755,000	491,000	835,000	
県共同募金補助金	660,000	660,000	0	660,000	
団体育成費	70,000	95,000	▲ 25,000	70,000	県心身障害児者親の会連合会、研修補助他
民間補助金	500,000		500,000	25,000	
県委託金育成会分	16,000		16,000	80,000	
⑤寄附金収入	0	0	0	131,720	
⑥預り金収入	3,659,000	3,880,000	▲ 221,000	3,915,500	
県委託事業費	2,489,000	2,593,000	▲ 104,000	2,593,000	レク教室、スポーツ大会、相談会研修会
会誌「手をつなぐ」	1,170,000	1,287,000	▲ 117,000	1,228,500	H29~3,900円
就労支援事業所協議会	0	0	0	0	
全国大会(東京都)	0	0	0	0	対面開催
関プロ大会(東京都)	0	0	0	0	対面開催
義援金	0	0	0	94,000	
その他の預り金	0	0	0	0	
⑦借入金	0	0	0	0	
⑧雑収入	200,000	130,000	70,000	131,177	JIC広告料、預金利息等
2 事業活動支出	11,042,200	12,017,600	▲ 975,400	11,351,406	科目①+②+③+④
①事業費支出	3,885,150	4,376,000	▲ 490,850	3,860,846	
本人活動支援事業	90,000	145,000	▲ 55,000	197,740	本人部会活動
啓発事業費	220,000	220,000	0	249,650	HP管理料、警察学校等啓発活動
広報活動費	300,000	300,000	0	290,196	会報85号86号各2,000部
大会参加費	0	0	0	0	全国大会東京大会
全体研修費	50,000	50,000	0	50,845	
活動事業補助	11,000	11,000	0	11,000	県委託事業補助
委員会活動費	50,000	60,000	▲ 10,000	40,000	権利擁護委員会等
啓発事業支出	3,164,150	3,590,000	▲ 425,850	3,021,415	(1)+(2)
	50,000	40,000	10,000	49,978	(1)会誌「手をつなぐ」事務経費
	3,114,150	3,550,000	▲ 435,850	2,971,437	(2)製品仕入代等
②預り金支出	3,659,000	3,802,000	▲ 143,000	3,915,500	
県委託事業費	2,489,000	2,593,000	▲ 104,000	2,593,000	レク教室、スポーツ大会、相談会研修会等
会誌「手をつなぐ」	1,170,000	1,209,000	▲ 39,000	1,228,500	会誌購読料支払
就労支援事業所協議会	0	0	0	0	
全国大会	0	0	0	0	
関プロ大会	0	0	0	0	
その他の預り金	0	0	0	94,000	
③管理費支出	3,496,000	3,832,000	▲ 336,000	3,575,060	
職員給与1	855,000	855,000	0	912,575	
職員給与2	730,000	730,000	0	739,800	
会議費	0	0	0	5,644	県育成会主催会議関係
需用費	1,400,000	1,775,000	▲ 375,000	1,406,741	(1)+(2)+(3)+(4)
	445,000	545,000	▲ 100,000	457,758	(1)旅費、通信費、消耗品費、印刷費
	770,000	780,000	▲ 10,000	834,926	(2)委託料、賃借料、光熱水費
	0	240,000	▲ 240,000	0	(3)関プロ大会会議費等
	185,000	210,000	▲ 25,000	114,057	(4)慶弔費、事務諸経費、経費、保険料
負担金	429,000	452,000	▲ 23,000	428,500	(1)+(2)+(3)
	310,000	310,000	0	310,000	(1)全育連分担金等
	33,000	33,000	0	33,000	(2)関プロ分担金等
	86,000	109,000	▲ 23,000	85,500	(3)関係団体分金等
法人税支出	82,000	20,000	62,000	81,800	法人税、消費税
④予備費	2,050	7,600	▲ 5,550	0	

※各種事業へのご理解とご協力をよろしくお願い致します

新年度役員紹介

令和7年5月22日

職名	氏名
会長	小島 幸子 県南
副会長	尾澤 嘉孝 両毛
副会長	和久 千夏子 県北
理事	柳田 友一 県西
理事	小幡 玲子 両毛
理事	萩原 義秀 県東
理事	古川 利香 県南
理事	池本 喜代正 県央
常務理事兼事務局長	石川 一夫 外部
監事	森屋 弘美 県央
監事	大谷 金正 外部

【事務局】事務員 亀田 令子

障害のある方向け総合保険

あ、それうちかも
と思った方

入通院の悩み

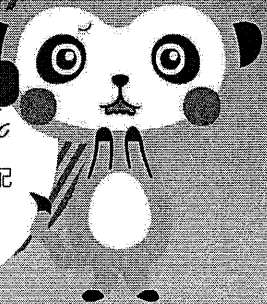
- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配



障害のある方とご家族へ

ぜんちの あんしん保険

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知不要
- ・障害者手帳不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの こども傷害保険

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)



詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

関東財務局長(少額短期保険)第14号

0120-322-150

平日10時～16時/土日・祝日・年末年始を除く

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」(約款)東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

24TX-004230(2024年12月作成) Z012-2411800

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の会員様へ

手をつなぐがん保険

なぜ障害のある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？

障害のある方と
そのご家族をワイドに
お守りする
保険です

加入できます！

右記動画の中で、前会長の久保顧問とぜんち共済代表の榎本が「手をつなぐがん保険」への思いについて対談しています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もご紹介します。ぜひご覧ください！！



手をつなぐ
がん保険
3つの特長

1

代理手続き
代理告知が可能

障害のある方向け
プラン

2

告知対象
疾患の緩和

障害のある方向け
プラン

3

“親なきあと”に
備える補償

障害のある方
ご家族向けプラン

(※) ぜんち共済お客様アンケートより

動画はこちら▶



<https://youtu.be/fEg9QDNV6wM>

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

Z011-2409R10

関東財務局長(少額短期保険)第14号

ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

[関東保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区三番町 6-4

TEL: 03-3515-4126 / 営業時間: 平日 9 時～17 時

0120-322-150

平日10時～16時 / 土日・祝日・年末年始を除く
URL: <https://www.z-kyosai.com/>



WEBからも資料請求できます！

資料請求
フォーム



この広告は「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済までお問い合わせください。

宇都宮市育成会レクリエーションに寄せて

宇都宮市知的障害者育成会 森屋 弘美

宇都宮育成会では、会員に五つのレクリエーション等の行事を展開しています。

今年度最初の行事は、7月13日にアクアワールド茨城県大洗水族館に行った親子レクリエーションです。近年参加者が少ないのが悩みの種でしたが、今年は初めて参加の会員も何人か増え、バスは満席でした。

水族館に到着後は、全員で写真を撮り、その後は自由行動になるので、事前にショーの時間をチェックし会場へ急いで行く会員さんや、ゆつくりと入口近くから見学する会員さん、混雑を避け食事をする会員さん達と、自分達のペースで見学を楽しみました。水族館での滞在は2時間ほどでしたが、集合時間に集まった会員さんの中には、もう少しゆつくり見学したかった方もいたようです。



イルカ、アシカ オーシャンライブ

水族館を出発してイレ休憩で立ち寄った道の駅では、保護者の方達は買い物、会員さん達はアイスクリームやかき氷にほっと一息ついていました。朝から暑い



茨城県大洗水族館にて

一日でしたが、保護者の協力もあり、無事定刻に戻る事ができました。

来年は、コロナ禍まで行っていた療育訓練も復活してみたいと思っていますが、宿泊できる会員、保護者が少なくなっている現実があります。会員の方々の

現状を考え、より良い行事運営ができるように会員さんと意見をかわしながら行っていきたいと思っています。

これから手芸教室、料理教室（会員さんの保護者の方が講師）やボウリング大会、新年懇親会が予定されています。多くの会員の方のニーズに応えられるよう行事を展開していきたいと思っています。

療育訓練

矢板市地域手をつなぐ親の会会長 増淵由美子

活動の一つに障がい者の社会参加、その家族との交流を目的とした療育訓練があります。昨年は、大谷資料館に出掛けました。列の先頭に立ち元気良く歩く娘。館中に入

るなり顔つきがおかしい。「どうしよう。」「そう、階段が苦手なのです。」

「これは、絶対すぐにヤダ。」「もうあきらめるだろう。」と思っていました。でもガイドさんのおかげもあり、一段一段ゆつくり真剣な顔をし、汗をかきながら進んでいました。「足、痛い。」「私、すごい?」と言いながら最後まで見学をする事が出来たのです。私は頑張る姿、成長が見られ「よく頑張ったね。」と涙が出てしまいました。

今年も療育訓練があります。

会員の方々からたくさんのお話が聞ける事、どのような成長した姿が見られるのか、楽しみにしています。

大谷資料館



宇都宮市 平和観音にて

ムーミンバレーパークへ日帰り旅行

那珂川町ひまわり父母の会会長 武田 正子



ムーミンバレーパークにて

ドの自然や、自由で平和な日々を満喫しました。那珂川町も自然そのものです(笑)。皆暑い中を時間ぎりぎりまで楽しみました。帰りのバスは、ぐっすりと静かでした。

現在、年2回の日

去る7月5日、埼玉県にあるムーミンバレーパークに行ってきました。参加者は24名。天気が心配でしたが、早目の昼食(楽しみにしていたバイキング)を取り、お腹が満たされた頃には、太陽が顔を出し暑くなりました。広い園内を歩き始めると、しゃぼん玉やミストがお出迎え、更には、木立の間にたくさん傘が吊るしてあり、目を楽しませてくれました。テレビの中のムーミンやミイ、スナフキン、ニョロニョロ達の人形や建物をバックに写真撮影。また、プロジェクトショウマップピングの映像と共に、天井から水が落ちてきたりと驚きながらも、楽しむ事が出来ました。広大なパークを全部歩くことは出来ませんが、作者トーベ・ヤンソンのフィンランドの自然や、自由で平和な日々を満喫しました。那珂川町も自然そのものです(笑)。皆暑い中を時間ぎりぎりまで楽しみました。帰りのバスは、ぐっすりと静かでした。

帰り旅行を実施しております。費用の高騰は続いておりますが、多くの参加者と、楽しい思い出を残す為にも、続けたい行事です！



ムーミン屋敷

クリスマス会

芳賀町手をつなぐ親の会 永井朔太郎

芳賀町手をつなぐ親の会では、毎年12月にクリスマス会を実施しております。ボランティアによるパフォーマンスや、ケーキを食べながらの豪華景品付きビンゴ大会と、毎回盛り上がりでの行事で毎年会員の皆様はとても楽しみにされています。

令和6年度のクリスマス会では、芳賀町のウクレレボランティアに来ていただき演奏を行っていただきました。クリスマスソングや誰もが聴いたことのある曲を演奏してくださったので、演奏会は徐々に会員の皆様の巻

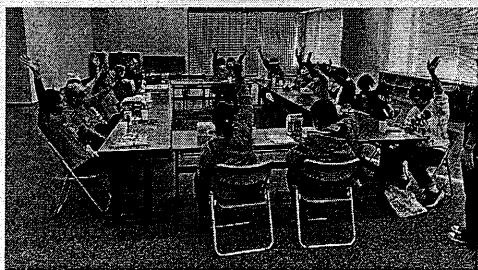
き込んだ合唱会に変わっていくようでした。

後半はケーキを食べながら楽しむ、豪華景品付きのビンゴ大会。全員に楽しんでいただけたよう景品は人数分用意しました。いざ数字の読み上げが始まると、演奏会に負けない大盛り上がり。リーチやビンゴの時はガッツポーズやハイタッチ等、全身を使って喜びを表現している姿が印象的でした。

終始大盛り上がりのクリスマス会ですが、全員で盛り上がりという点が良いところだと考えております。会員の皆様が会員同士だけでなく、会員外のボランティアともコミュニケーションをとり、一緒に笑い喜ぶ機会が得られる良い機会です。そんな良い機会が今後も続くよう、今年度も昨年度に負けないようなクリスマス会が開ければと考えております。



クリスマス会



知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生活サポートは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援 ●権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

※プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償

※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や発達障がい児者(自閉症児者を含む)への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

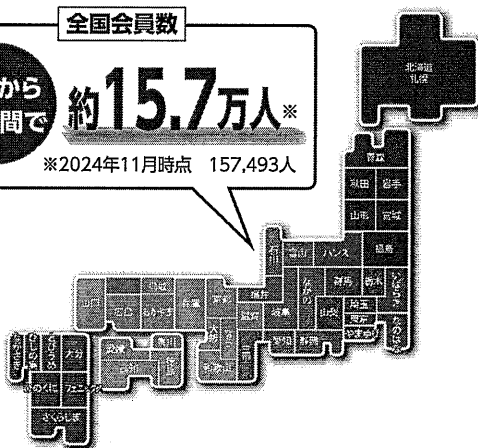
全国で約15.7万人※のみなさまに
ご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点

全国会員数

設立から
17年間で 約15.7万人※

※2024年11月時点 157,493人



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビル2号館2F

TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

東京第二プロチャネル営業部

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階

TEL: 03-5401-3660

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

栃木県知的障害児者生活サポート協会

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6

とちぎ福祉プラザ2階

TEL: 028-612-1901 FAX: 028-612-1902

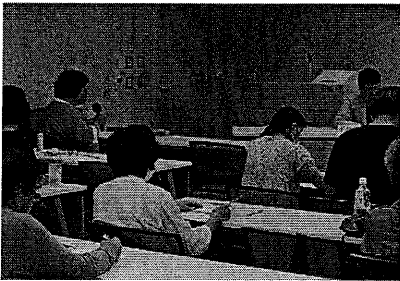
受付時間: 午前9時半～午後4時(土・日・祝日・年末年始を除く)

研修会報告

令和7年度全体研修会

去る6月25日(水)とちぎ福祉プラザ第2研修室において全体研修会を開催しました。「親あるうちに…」親も本人も安心して年齢を重ねるためにをテーマに、国立のぞみの園理事の古川慎治先生をお迎えしてご講演をいただきました。特に、知的障害者の高齢化のことやその支援について、国立のぞみの園での豊富なご経験をもとに分かりやすいお話でした。また、本人らしく生きていくためにはどうしたらよいか、親として親なき後に何をなすべきか、具体的な事例を通して改めて考えさせられる貴重なお話でした。

今後も、県育成会では親なき後のことを含め、課題に対応した研修会などを行っていく予定です。



那須烏山市相談会・研修会

「子どもの行動の背景を考えてみよう」
〜感覚統合の視点から〜

那須烏山市心身障害児者父母の会では、「療育」をテーマに興味を持った方の参加を促し、知識理解の獲得と会員とのつながりを構築することを目的に、8月24日(日)多世代交流拠点の出屋において相談会・研修会が開催されました。内容は、作業療法士の小林岳先生による「子どもの行動の背景を考えてみよう」感覚統合の視点からの講話と意見交換でした。障害のある子ども達の発達やその支援についてとても参考となるお話でした。



下野市相談会・研修会

「グループホームってどんなところ?」
〜親なき後の手前から〜

下野市心身障害児者父母の会では、「親なき後 その前に」をテーマに、8月25日(月)ゆうゆう館において相談会・研修会が開催されました。内容は、1部「グループホームってどんなところ?」と題して会員からの発表及びグループワークが行われました。2部で

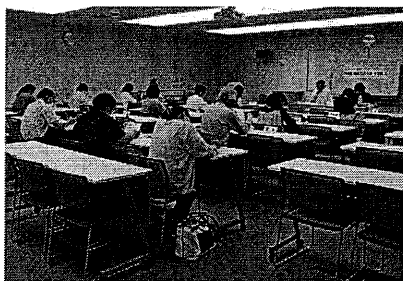
は、「地域の情報を教えてもらおう」と題して、社会福祉士の佐藤直久先生より講話がありました。今後、親として何を準備してどのように進めていくかとても参考となるお話でした。



育成会活動委員会報告

各地区構成団体代表者懇談会

去る8月18日(月)とちぎ福祉プラザにおいて栃木県手をつなぐ育成会各地区構成団体代表者懇談会を開催しました。内容は、今年度設置した県育成会の「今後のあり方検討会」の進め方やスケジュールなどについて説明し、ご意見を伺いました。今後、検討会の進捗状況を情報提供するとともに、来年2月3日(火)には、各地区構成団体代表者会議を開催し、検討会での検討内容について改めてご意見を伺う予定です。

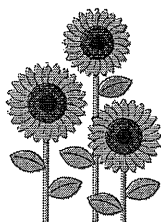


本人部会活動報告

「アフリカカンダンスとゲーム」

去る8月9日、栃木県障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）において、総勢25人（内ご本人11人）の参加を得てアフリカカンダンスとゲームを開催しました。

はじめに「ひまわりの約束」を合唱。次はアフリカカンダンス、講師の石川先生の指導の下、軽快なダンスの曲に合わせて楽しく自由に体を動かすことができました。最後はビンゴゲームでまた盛り上がりました。



お知らせコーナー

◎令和7年度 県への要望事項

①地域生活支援拠点について

市町の地域生活支援拠点の整備の推進とPDCAサイクルによる拠点機能の検証と改善が休みなく続くように繰り返し市町に強く働きかけて下さい。

②知的障害児者の防災対策について

市町で把握されている災害時要支援者名簿の作成状況や知的障害児者の個別避難計画の状況、福祉避難所の設置状況その課題などを調査して障害者団体に公表して下さい。

③強度行動障害支援部会の設置について

県自立支援協議会に強度行動障害支援部会を設置して下さい。

④就労選択支援について

令和7年10月より新たな障害福祉サービスである就労選択支援が始まりますが県内に事業所をどのように確保されるかをお考えをお示しいただきたい。

※以上、4点について要望させていただきました。要望書の提出及び説明会については、9月5日（金）栃木県職員会館ニューみくらで開催の予定です。

◎収益事業へのご協力

育成会活動の一助とするため、通年でお茶やクロスを販売しています。また、夏季はそうめんなど、冬季はちゃんぽんなどを販売しています。

◎賛助会員の募集

県育成会へのご支援とご協力をお願いします。

個人会員（一口2500円）と団体会員（一口10000円）があります。会報「とちの実」の送付や研修会等のご案内をいたします。なお、個人会員2口以上のお申し込みは会誌「手をつなぐ」を毎月送らせていただきます。

◎共同募金へのご協力

県育成会が行う広報活動や本人部会活動などは共同募金配分金で大部分を賄っています。募金へのご協力をお願いします。

◎第10回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会東京大会の開催

本年11月8日（土）・9日（日）の両日、日本工学院専門学校（蒲田キャンパス他）において、関東甲信越ブロック大会・全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会を併催し、「ともに生きる社会を目指して」を大会スローガンに全国大会東京大会が開催されます。1日目は分科会、2日目は全体会が予定され、本人大会もバスツアーを含めて開催されます。

※お知らせコーナーに関するお問い合わせは、1ページの栃木県手をつなぐ育成会連絡先及びHPをご参照ください。

編集後記

夏の高校野球も終わり、日が短くなるのは日ごとに感じられますが、暑さが和らぐ気配は全く感じられません。指がない球児のプレーは胸に熱いものが込み上げてきました。こういう熱さならいつでも大歓迎です。